

納本

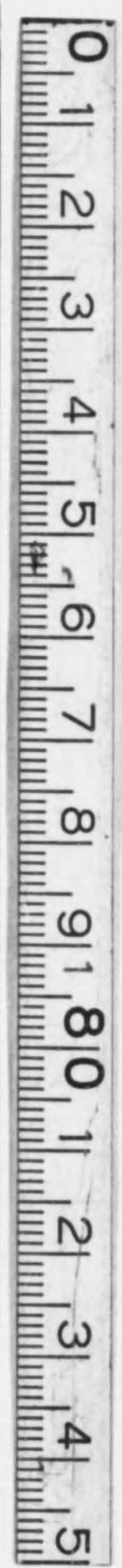
農業經營より觀たる綠肥

北海道農會

特252

194

農業經營資料第二十八編



始



38
32

特 252
194

序

畑作經營に於ける綠肥の栽培は、經營組織及作物の配當と共に極めて重要であつて、北海道の如き相當面積の經營に於て、自給肥料を堆厩肥にのみ頼らんとすることは決して經營當を得たものでなく、牧草栽培による長期輪作と之による綠作休閑に基づく地力の培養と併せつゝ、混作、間作、跡作を通じて、最高量の綠肥を栽培することによりて、始めて經營の能率的自給肥料の増産となり、地力の増進を招徠して經營の全體的方向を來すものである。

多年之が指針に努力するも、傳統三千年の日本農業の歴史は之等の進歩的複式經營の眞隨を、農家の愚念化するは多大の困難あり、尙未だ所期する處に遠い現状にあるを遺憾とする。

戰時體制下にはける畑作經營の革新的改善は、蓋し國策に基づく統制經濟下に、勞働力の調整と謂ひ、生産力の擴充と謂ふも、何れも其の根底を此處に發するの要緊なるものと認む。

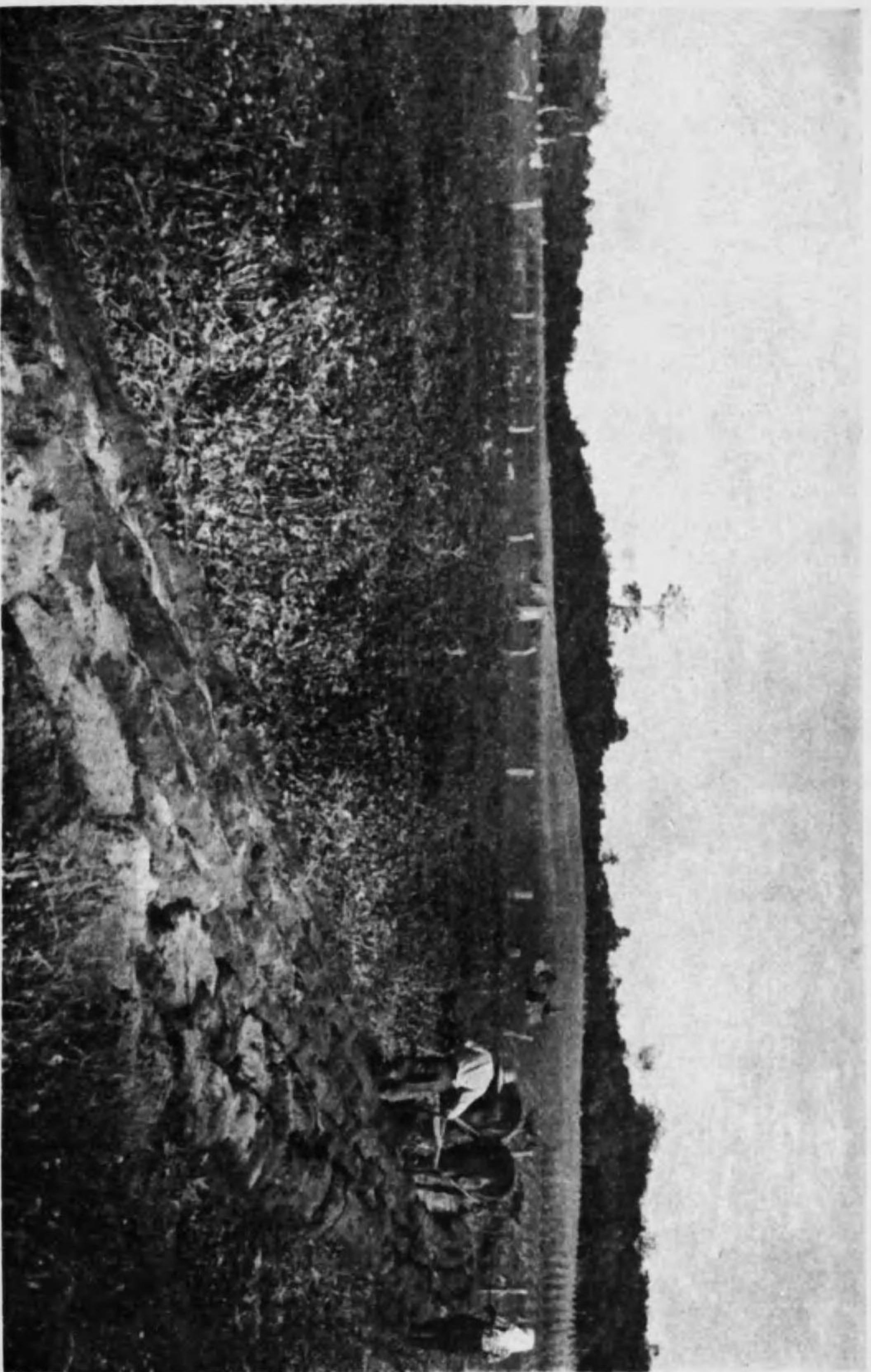
茲に聊か之が經營研究資料の として、昭和十年度系統農會共同經濟調査中より綠肥を栽培する農家を拔萃、之と稍類似せる綠肥不栽培農家と對照比較考究を試みた次第である。

素より資料尠なく、更に他日を期し斯種資料の充實を期し、其の實質的改善の進展を切に祈念して止まぬ次第である。

昭和十二年十一月三日

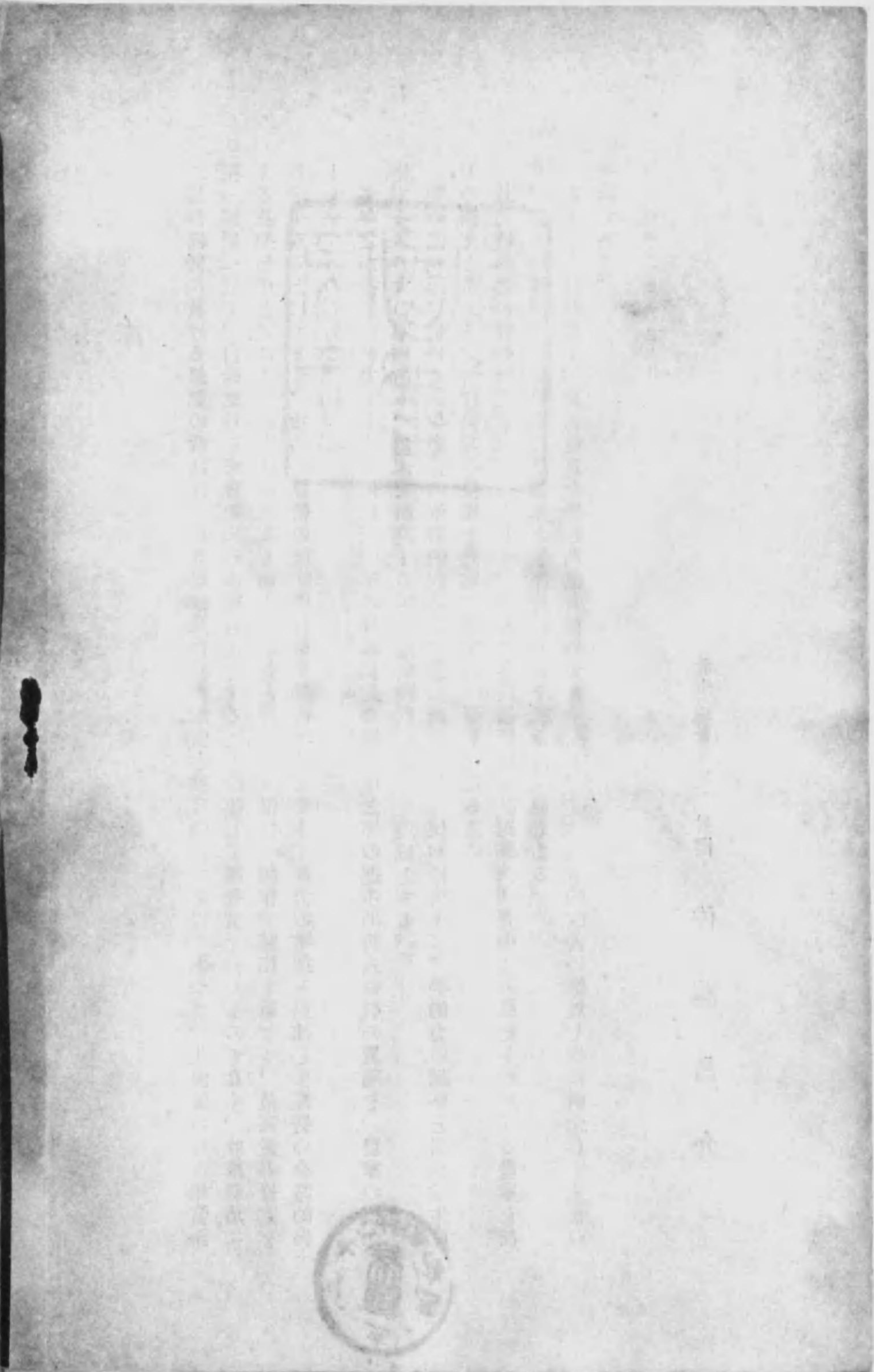
北海道農會長 男爵 佐藤 昌 介





肥

綠



目次

一、昭和十年度調査農家十戸の農家番號及所屬郡農會名	一
二、綠肥を栽培せるものと栽培せざるものとの作物配當	一
三、經營面積と綠肥の耕作面積	三
四、自給肥料と飼養家畜	三
五、農業資本に對する農業所得割合	四
六、農業經營費	六
七、勞働と所得	六

一、昭和十年度調査農家十戸の農家番號及所屬郡農會名

所屬郡農會名	農家番號	所屬郡農會名	農家番號
上川	二四	上川	二六
北見	二八	高谷	三七
同日	三〇	高谷	四九
日高	三六	室谷	五〇
宗谷	四八		
合		合	
			二六
			三七
			四九
			五〇

註 (一) 農家番號は昭和十年度北海道系統農會共同經濟調査決算表に登載せられた農家の番號である。
 (二) 各個の經營に付き詳細に之を知らうとする人は同表に付き研究を乞ふ。

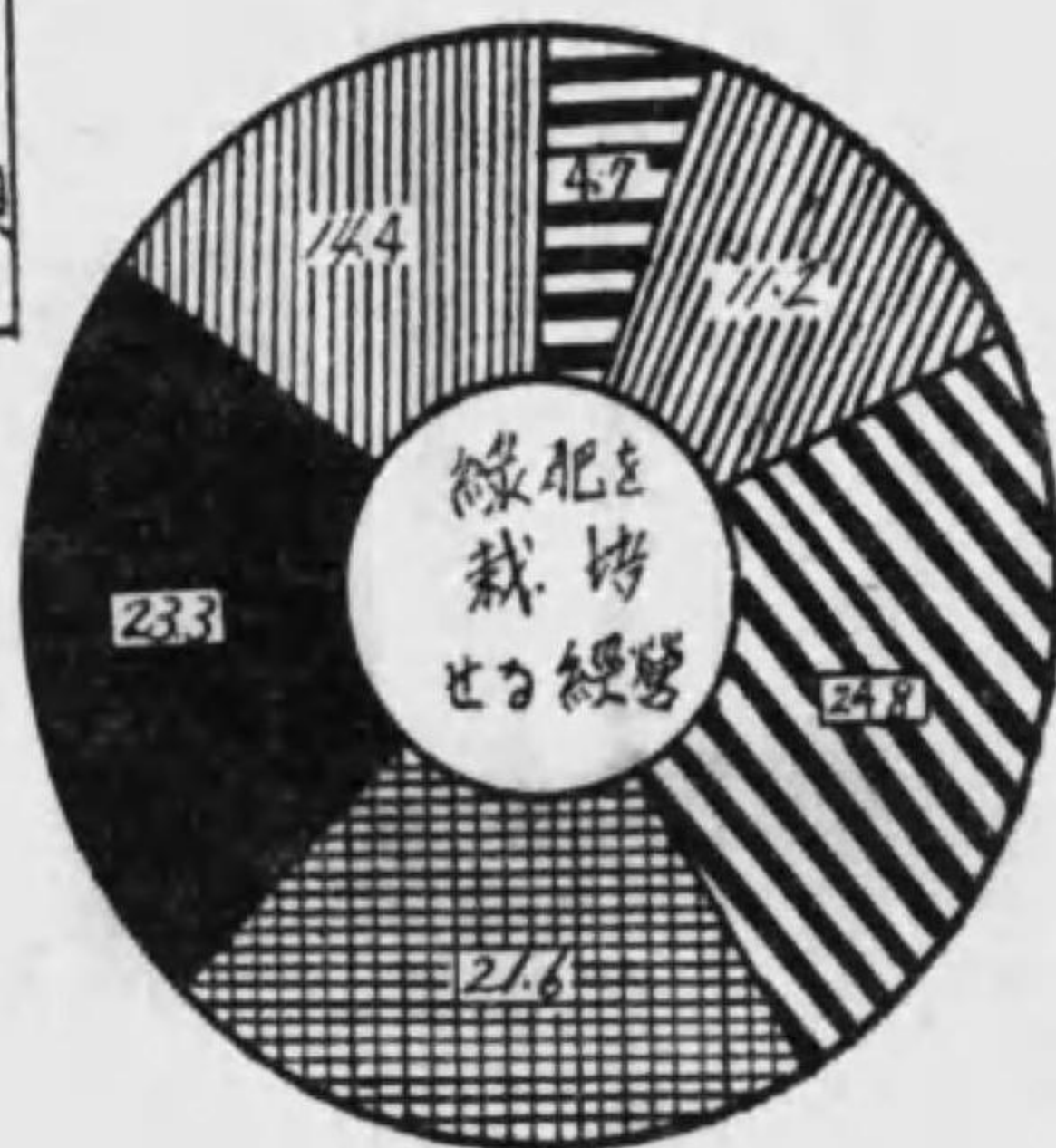
二、綠肥を栽培せるものと栽培せざるものとの作物配當

種目	實		割		合
	綠肥を栽培せるもの(五月平均)	綠肥を栽培せざるもの(五月平均)	綠肥を栽培せるもの(五月平均)	綠肥を栽培せざるもの(五月平均)	
水稲	一・二・三	一八・一	一四・四	二一・一	三三・三
麥類	二〇・〇	三三・三	二二・六	四三・三	三三・四
菽類	一八・四	一・二・四	二四・八	一四・四	一九・六
根菜類	二・二	一・二・四	一・二	五・〇	八・二
牧草類	九・六	四・三	一・二	二・八	一・四
工物類	四・〇	二・四	四・七	一・三・四	九・二
其他計	八五・四	八五・九	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇
全一〇戸平均					
	一・二・三	一八・一	一四・四	二一・一	三三・三
	二〇・〇	三三・三	二二・六	四三・三	三三・四
	一八・四	一・二・四	二四・八	一四・四	一九・六
	二・二	一・二・四	一・二	五・〇	八・二
	九・六	四・三	一・二	二・八	一・四
	四・〇	二・四	四・七	一・三・四	九・二
	八五・四	八五・九	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇

註 (一) 綠肥を作る農家は水稲、麥類、根菜、牧草多く菽豆が少い。
 (二) 綠肥を栽培せざる農家は菽豆類が多く四三・三%を占めて居る。

作物配當

家畜
牛 六頭
馬 四頭



- 水稲
- 麥類
- 大豆類
- 根菜類
- 牧草飼料
- 工藝作物
- 其他

家畜
牛 六頭
馬 七頭



三、經營面積と綠肥の耕作面積

種目	經營種類別	綠肥を栽培せるもの (五月平均)	綠肥を栽培せざるもの (五月平均)	全一〇月平均
總經營面積		一八三・四反	一一五・六反	一四九・五反
田畑經營面積		一〇四・八反	八四・三反	九四・六反
綠肥耕作面積		〇・八反	〇・四反	〇・四反
田畑經營面積に對する綠肥耕作面積割合		〇・八%	〇・四%	〇・四%
一人當り經營面積		二六・三反	二二・一反	二三・七反
一人當り經營面積に對する綠肥耕作面積割合		〇・八%	〇・四%	〇・四%

註 (一) 綠肥を作る經營は總經營面積、田畑面積、一人當面積共に多い。(水稲を含むにも拘らず)
 (二) (一) 一人當に於て二六・二反と二二・一の差がある。

四、自給肥料と飼養家畜

種目	經營種類別	實	割	合
堆厩肥生産量		一五、〇〇〇反	一〇〇・〇%	一〇、四七〇反
堆厩肥反當量		一四・三反	一〇〇・〇%	一、五〇〇反
堆厩肥施肥量		四・八反	一〇〇・〇%	一、三五〇反
飼養家畜計		七・三反	一〇〇・〇%	八三・三反
牛		二・四反	一〇〇・〇%	一、二二二反
馬		四・九反	一〇〇・〇%	一、一三三反
全一〇月平均		一六、四〇〇反	一〇〇・〇%	一一、一〇〇反

五、農業資本に對する農業所得割合

註 (一) 堆肥の量は綠肥を栽培せざるものの方が優れて居る。一戸當りも反當量も共に。
 (二) 家畜に於ては綠肥を作るものが牛が多く馬が少ない。

種目	經營種類別	綠肥を栽培せざるもの (五戸平均)	綠肥を栽培せざるもの (五戸平均)	全一〇戸平均
農業所得		八七二・〇〇	四九二・七九	六八二・三九
田畑反當農業所得		八・三三	五・八五	七・二二
從業者一人當り		二二八・〇〇	一三三・二〇	一七〇・六〇
農業資本		九〇八・五三	三九七・五一	六五二・六〇
農業資本に對する農業所得割合		九・六%	一・二%	一・〇%

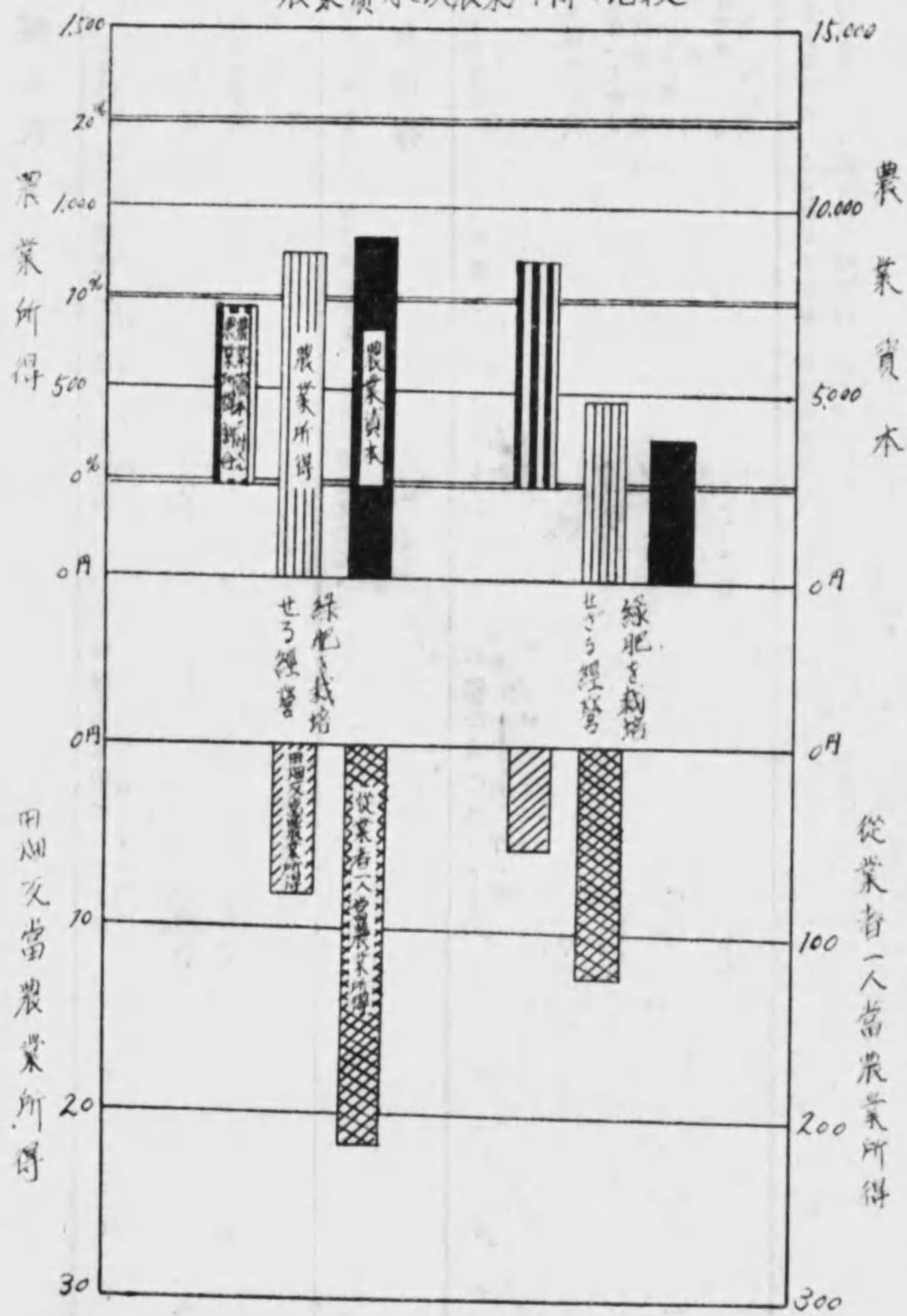
註

(一) 綠肥を作る經營は、一戸當農業所得、田畑反當農業所得、從業者一人當農業所得、農業資本總額の諸點に於て優れて居る。

(二) 農業資本に對する農業所得割合に於ては唯一つ反對である。

(三) 綠肥に關係のない國があるが農業資本の利益が局部的な經營改善理論と一致せず、兎もすれば改善が改善にならんとし、或は農家を以て負債に誤らしむることのある理論の一端がこんな處にも現はれて居る。

農業資本及農業所得の比較



六、農業經營費

種目	經營種類別	綠肥を栽培せるもの (五戸平均)	綠肥を栽培せざるもの (五戸平均)	全一〇戸平均
農業經營費		二、三八九・六	一、二七四・九七	一、八三三・〇七
田畑反當農業經營費		三三八〇	一五・二二	一九・三七
經營費一圓に對する農業所得		〇・三六	〇・三九	〇・三七

註(一) 綠肥を栽培する經營は全經營費、反當經營費共に多い。

七、勞働と所得

種目	經營種類別	綠肥を栽培せるもの (五戸平均)	綠肥を栽培せざるもの (五戸平均)	全一〇戸平均
成人換算從業人員		四〇	四〇	四〇
家族從業者一人當り 延農業勞働日數		一七三・二	一七八〇	一七五〇
從業者一人當り 農業所得		二一八〇〇	一三三・二〇	一七〇・六〇
家族從業者一人當り 農業所得		一・二七	〇・六九	〇・九七

註(一) 家族從業者一人當農業勞働延日數は大差ない。
(二) 從業者の一人當所得は略半額である。

昭和十二年十一月二十五日印刷
昭和十二年十一月三十日發行

札幌市北區福西七丁目
 北海通商會
 發行者 若林 功
 印刷者 山中 次郎
 札幌市北一條西三丁目
 印刷所 會社 文榮堂印刷所
 電話一六〇・八五一番

終

